

丹波地域被災者支援活動研修会 実施要領

1 目的

多様化する自然災害に備えた地域防災力の強化を図るため、「自分たちの命は自分たちで守る」という意識を醸成し、平素より市域を越えた丹波地域内の関係機関と「顔が見える関係」を構築する。

2 日時

令和7年2月17日（月）13:30～15:30

3 場所

丹波篠山市民センター 催事場 （丹波篠山市黒岡 191）

4 内容

(1) 開会

(2) 丹波地域被災者支援活動研修会 講演

テーマ 「地震災害及び風水害災害における被災者支援のあり方」

- ・地震災害：阪神・淡路大震災 30 周年を迎え、能登半島地震で学び、南海トラフ対策に備えるための被災者支援。
- ・風水害：平成 26 年丹波市豪雨災害における被災者支援の在り方と今後の検討

講師 頼政良太（被災地 NGO 協働センター 代表）

目的 各団体および担当者が、平時・災害時の連携に役立てるとともに、日ごろから担当者同士で気軽に連絡・相談できる「顔が見える関係」を構築する。

－休憩－

(3) スマート・コミュニティ・プロジェクト 講演

テーマ 「災害時に活用できるデジタル技術について」

講師 井上あい子（総務省 地域情報化アドバイザー）

目的 防災関係者に災害時に活用できるデジタル技術を知ってもらうことで、災害時の被災者支援活動に日頃から備える。

(4) 交流タイム

(2)、(3)を通して全体の質疑応答

(5) 閉会